

県立八千代高等学校

令和元年度 魅力ある県立学校づくり大賞 優秀賞受賞の取組

千葉県立八千代高等学校のパンづくりを通じた地域貢献による高校づくり
～「やちパンプロジェクト」～

この度は、本校の取組「やちパンプロジェクト」で、令和元年度魅力ある県立学校づくり大賞優秀賞をいただき、大変に光栄に思っております。

本校には、家政科、普通科、体育科の3つの科があります。「やちパンプロジェクト」は、家政科の調理を選択している生徒が、八千代市及び八千代商工会議所による産学官共同ネットワーク事業の一環として、八千代市内のパン職人とともにオリジナルパンを考案・販売するといったもので、2017年度に始まり、令和元年度で3年目となりました。平成30年度は、厚生労働省から地域の産業振興や技術者育成で特色ある取組として、全国から選ばれた「地域発！いいもの」の9選のうちの1つに選定されました。



「やちパン」の愛称も定着した令和元年度も販売開始前から、市内のあちらこちらにポスターが貼られ、各新聞等にも取り上げられ、販売した令和元年11月30日からの約2週間、各ベーカリーには多くの方が「やちパン」を求め、訪れていました。今年度の販売実績は、9,522個と昨年度の7,500個を大きく上回り、あまりにも好評なため、期間終了後も継続して販売しなければならなくなったパンもあるほどでした。



プロジェクトに参加した生徒からは、「アイデアが形になることで達成感があった」「パン職人にアイデアを説明することでプレゼンテーション力が高まった」などの声が聞かれ、単に教室内だけの学習では得られない体験をすることができました。



生徒のアイデアをパンに仕上げ、販売した各ベーカリーの店長からは、「やちパンの効果は絶大で、孫の考えたパンはどれですかと買いに来るおばあさんがいました」「販売期間中はレジ横の棚がやちパンで埋め尽くされ、来店した人は店長さんも一緒にと行って、写真を撮ったりするなど、店内は大にぎわいでした」といった話もありました。今後も地域・関係団体と連携してアイデア溢れたパンをつくり、「パンの街」八千代としてアピールできるまでに、「やちパンプロジェクト」を発展させていきたいと考えます。

この件についての問合せ先 企画管理部教育政策課 電話043-223-4026